

ともに生きる

No.20

平成 22 年 8 月 30 日 発行



ご挨拶

後援会長

橋本弘好

後援会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より後援会活動におきまして、ご理解、ご協力を頂き誠に有難うございます。今年度の近畿医療福祉大学後援会長に就任いたしました事をご報告申し上げます。大学と学生の皆さんのサポートを会員の皆様のご支援、ご協力を得ながら微力ではございますが努めさせていただく所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

大学では、今年4月より経営福祉ビジネス学科におきまして大阪天王寺キャンパスが開設されました。4月の入学式、オリエンテーションを終え、学生の皆さんは授業はもとより、部活動、課外活動、学外実習など充実した学生生活を過ごされておられることと思います。新入生歓迎行事では今年初めてのフレッシュマン交流会が行われ姫路キャンパスの学生と大阪天王寺キャンパスの学生、日本人学生、留学生がともにレクリエーションをとおして交流がはかられるなど、今後の学生同士の活動も活発に行われることと思います。部活動では6月26日、27日に行われました第17回白鷺杯争奪「姫友戦」(近畿医療福祉大学、兵庫県立大学、姫路獨協大学、関西福祉大学の体育団体による定期交流戦)では、各選手たちが一丸となって活躍し、総合2位の結果でした。また、ボランティア活動や10月に開催される学園祭「播彩祭」、そして国家資格取得に向けての支援、就職活動に対しての支援など幅広い学生生活への支援を後援会として最大限バックアップさせていただきたいと考えております。学生の皆さんのが近畿医療福祉大学での思い出をひとつでも多く残していただけるよう教職員の方々、後援会会員の皆様方と取り組んでまいりますので、さまざまご意見、ご提案を頂ければ幸いです。最後になりましたが、近畿医療福祉大学の更なる発展を願い挨拶とさせていただきます。





後援会の皆様へ

学長
吉武毅人

後援会の皆様におかれましては、日頃から本学に対し多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学は、福祉の4年制大学として開学から、今年11年目を迎えました。この歩みの中で、大学名の変更、新学科の開設、さらに、この春は大阪市天王寺区に「大阪天王寺キャンパス」を設立し、経営福祉ビジネス学科の一部を設置いたしました。現代社会の高齢化の問題は、日本などの先進国だけの問題ではなく、中国を始めとする東アジアの国々でも、今後大きな課題となります。新時代の流れに羅針盤を合わせ、グローバルな視点から福祉ビジネス戦略を展開していくことの可能な国際人の育成を目指して、積極的な留学生の受け入れを開始しました。

新年度の始まりの4月には、大学生活に夢膨らませた、本学・姫路キャンパスと大阪天王寺キャンパスの学生、さらに学園の姉妹校、日本経済大学・神戸三宮キャンパスの新入生が、本学の大ホールに一堂に会して厳かな入学式が挙行されました。春爛漫の中、式典の流れに合わせた二胡の演奏を交えて華やかな賑わいの中で新入生の前途を祝しました。新学期のオリエンテーションも、姫路・大阪天王寺両キャンパスを交えた履修登録、フレッシュマン交流会などの集いを持ち、キャンパス内は国際色豊かな活気に満ちたものとなりました。

時代を先駆ける闊達な明るい学風のもと、豊かな福祉社会を創造する人材を目指し、本学の教育の理念であります個性を伸展し、人間と社会と地球に福祉的未来を実現できるよう教職員一同邁進してまいりたいと存じています。どうぞ、今後とも保護者の皆様からのお力添えをいただきたく、心よりお願い申し上げます。

全学の保護者の皆様、ならびにご一同様のご健勝をお祈りし、ご挨拶といたします。





2010年 夏に思う

学部長・教授

瀧 豊樹

この夏、マスコミに取り上げられることの多い児童虐待や高齢者の所在不明問題。これらの問題の本質はどこにあるのかと考えると、福祉の専門家として活躍しようとする学生の将来に思いを巡らせています。

大学では前期試験が終了し、8月の中旬からは資格取得のための現場実習がスタートします。9月になると国家試験受験申し込みのガイダンスが行われ、受験対策も本格化を迎えます。一方で、夏休みとはいえ秋のシーズンに向け、学生たちの様々な課外活動も猛暑の中再始動しています。実習や課外活動は、授業だけでは学べない多くのことを学ぶ貴重な機会であり、学生が人間として大きく成長する場ともなります。

さらに本学では、23年度より「福祉健康スポーツ学科」を「健康スポーツコミュニケーション学科」に改組し、教育課程を充実させ、高校保健体育の教員免許の取得が可能となるよう準備しています。従来、福祉を学ぶ学生の活躍の場は福祉施設のみにとどまっていますが、新たに、学校現場をフィールドとする人材育成にも取り組むこととなります。

『人と関わる』。そのすばらしさと難しさを学ぶ学生たちに、少し大袈裟かもしれませんのが日本の将来を託す気持ちになります。現代社会において最も求められる人材養成を本学は担っていると再認識させられる、2010年の暑い夏です。

皆様からの日頃のご支援に厚くお礼申し上げ、雑感を添えて晩夏のお見舞いにさせていただきます。



大阪天王寺キャンパス 開設にあたって

大阪天王寺キャンパス長・教授

姫野修



平素は近畿医療福祉大学の活動にご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

近畿医療福祉大学大阪天王寺キャンパスは大阪市の天王寺区桃谷に、2010年4月に開設されました。大学は、経済連携協定（EPA）などの日本政府の流れを見ながら、福祉分野の人材を確保するため留学生などグローバルな人材も大いに受け入れ、世界に通用する人材を育成するとともに、社会に有益な人材を育てることを目指しています。

現在140名の留学生を迎える、新しい大阪天王寺キャンパスを創り出すため、教員と学生が共に学びあい、互いに成長していく教育を実現したいと考えています。

大阪天王寺キャンパスは経営福祉ビジネス学科だけのコンパクトなキャンパスです。キャンパスの良さを生かし、ビジネスや福祉の分野を中心に社会の人々の健康で豊かな生活の実現に貢献する人材の育成を教育の基本方針としています。そのため、初年次から少人数編成の日本語教育を導入するとともに、地域の教育力・教育資源を生かした実践的な教育や、人間力を高め社会人として必要な資質を育みます。

また、主体的な学びの中で生涯にわたって、国際色豊かなキャンパス環境の中で他者を理解し、相互信頼の絆を築く大切さを身につけてほしいと願っています。

後援会会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



社会福祉士国家試験 受験対策について

教務部長・教授

山西辰雄

私たち教員は、毎年国家試験合格を手に、晴れ晴れと卒業していく学生をたくさん送り出しています。今年度も、いよいよ学生たちを「国試」本番へと導いていく最終段階を迎えました。

合格率全国平均30%弱という国家試験は難易度がとても高く、難しいのですが、合格レベルに達する学習努力（1日7時間程度の勉強）を半年間行うかどうか、合格しようとする意欲を具体的な学習に結びつけていけるかどうか（傾向と対策に応じた勉強）が、合格への「鍵」となります。前者には、家族や友人からの応援が欠かせません。後者は私たち教員の責務であると思っています。私たちも熱く燃えます。どうぞ、一人でも多くの合格者が出せるように、後援会の皆様、とくに受験生のご家族の皆様、ご理解とご協力をお願いします。

受験対策については、幅広い科目群に対する基礎知識を確実に身につけながら、そこにとどまらずに、国家試験合格に必要な知識と技能にまでそれを深めていく必要があります。たとえていると、福祉行政職の係長クラスの知識量と技能レベルにまでグレードアップする必要があるのです。

そういう意味で、日々学習の中で最も効果的なのは、模擬試験の受験と模擬問題への徹底した振り返り学習、過去問題に接して国試レベルの知識を体得していく習慣です。経済的にもご家族のご協力が欠かせません。これから、9月・勉学の秋に出発して、1月末・厳寒の冬にいたる数ヵ月、成功を勝ち取りましょう。

4



精神保健福祉士 国家試験受験対策について

教 授

山田州宏

限られた字数でのご報告ですので、足りない文は是非ご子息様から伺って下さい。

本学では、特別対策講座（①1週間15時間、②正月休み期間中の講座）をベースに、次のような受験対策を毎年行っており、今年度も行いつつあります。

その内容は

- 1) 専門用語（例えばトワイライトステイとは？リワーク事業とは？）をしっかりと把握、記憶する対策を行っています。
- 2) 過去問題を徹底して繰り返し勉強するよう心がけています。
- 3) 正式な模擬試験を2～3回、教員作の小模擬試験を数多く行います。
- 4) 友達同士で問題を出し合う方式と参考書の持ち歩きを推奨しています。
- 5) 必要なニュースを紹介しています。
- 6) 12月31日迄終日対策講座を行います。
- 7) 直前対策講座を行います。その他色々やっています。

以上のように大変な闘いでるので、是非これまで以上にご家族のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



就職支援の取り組み状況について

就職部長・教授

長谷川 貴士

後援会の皆様には、常日頃より多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。

現在、世界経済の先行きは不透明で見えない状況が続いているが、それを反映して日本経済も見通しが立っているとは言えない状況です。こうした経済状況によって直接影響される雇用情勢は、ここ数年厳しいものとなっています。先日の新聞紙上に発表された今春卒業の全国の大学生の就職状況については、5人に1人が就職も進学もしていない進路未決定者であり、買い手市場の情勢です。これに対して本学は現場では依然売り手市場が続いている福祉系ということも幸いして、就職率96.5%、進路決定率86.7%という高率を維持しています（5月1日現在）。これを保持すべく本年も就職課では、学生に基礎的な就職知識・技術を授ける就職セミナー、毎年開催している学内合同就職説明会、近年より多くの企業で行われるようになったS P I試験に対応した就職試験・公務員試験の基礎学力対策講座、その他ホームヘルパー2級講座、福祉用具専門相談員講座、福祉情報技術コーディネイター講座、パソコン講座（M O S検定用）、など多様の就職対策を掲げて学生の就職活動への支援に邁進しています。

後援会の皆様には普段より一方ならぬご協力をいただいているが、「就職」はあくまでも学生が自主的に活動することによって達成されるものであり、学生本人が早め早めに就職活動に動き出すよう、今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。以下に就職支援メニューを掲げておきます。

5

就職支援メニュー



- 就職セミナー（基礎知識～就職活動方法）
- 面接対策・エントリーシート作成対策
- 就職活動に必要なインターネット活用術
- 就職活動不調者対象の就職ガイダンス
- 就職試験に必要な基礎学力対策講座

■ 求人情報の収集と提供
■ 就職関連のイベント情報の提供
■ 採用試験情報提供（過去の試験内容）
■ 学内合同就職面接会
■ 就職課の資料コーナーの運営
■ 就職課のホームページの運営

情報提供

■ 就職活動の進め方の相談
■ エントリーシート作成の相談
■ 求人情報提供と応募先選択の相談
■ 個別の希望に基づく求人開拓
■ その他、就職に関する相談



学友会活動



学友会運営委員会
委員長 長池愛美
(生活医療福祉学科介護コース2年)

● クラブ団体紹介

4月10日(土)午前に学校のB棟8階の教室で団体紹介（クラブ紹介）を行いました。

団体紹介とは…スポーツ系・カルチャー系・ボランティア系・セクションの47団体が新入生を勧誘する場です。今年は35団体が参加しました。

今年は例年の団体紹介をやめ、B棟8階で各団体がブースに別れ、お見合い形式の団体紹介を行いました。部屋の真ん中ではダンスサークルのダンスを披露したり、各団体がチラシを配ったりと新入生の勧誘にとても力が入っていました。

新入生は興味のある団体をいくつか回り「先輩たちが気軽に話しかけてくれてうれしかった」「丁寧に教えてくれて、さらに興味を持った!!!」と言う言葉を聞きました。また、「ダンスサークル以外の活動も見たかった」、「参加したが不在の団体があり話を聞けなかった」という意見もありました。来年は参加団体を増やし、多くの新入生が団体加入できるよう工夫したいと思います。



● フレッシュマン交流会

4月10日(土)午後にオリエンテーションの一環として食堂でフレッシュマン交流会を行いました。教職員、大阪天王寺キャンパス生と姫路キャンパス生が集い交流を深めました。吹奏楽の演奏や演劇部の劇を見た後、伝言ゲームやビンゴゲームを行いました。ビンゴゲームは、自己紹介をしながら名前・誕生日・出身地をビンゴカードに書き、埋めていきます。説明が行き届かず、理解するのに四苦八苦している人もいましたが、交流会中に出来た友達と教え合いながらゲームに参加していました。終了後のアンケートでは、「いろんな人と交流することができて良かった」、「いろんな人に出身や誕生日を聞くときは恥ずかしかったけど、会話のきっかけになり楽しかった。」「来年もぜひしてほしい」と言う意見を頂きました。



初めての行事で戸惑うことも多々ありましたが、皆さんの笑顔を見て、楽しんで頂いているのが良くわかり、私たちもうれしく思いました。

● リーダー研修会



リーダー研修会では、私たち学友会運営委員会やボランティア活動支援センター・カルチャーセクション・スポーツセクション・播磨祭実行委員会が集まり、全体会議の後、バーベキューでセクション同士の交流会を行いました。

今年は、7月3日(土)クラブハウスA棟の小会議室で、各セクションの活動内容・状況報告をし、各セクションの問題点やクリーン作戦について話し合いました。教員にも参加していただき、たくさんのアドバイスを頂きました。

バーベキューでは、みんなでお肉や野菜を焼いたり、焼きそばを作ったりしながら、セクション関係なく交流を深めたのではないかと思います。次回はたくさんの方に参加していただき、今年以上に有意義な研修会が出来るよう企画していくたいと思っています。



カルチャーセクション代表
惣田章裕
(生活医療福祉学科3年)

● カルチャーセクション

カルチャーセクションの活動は主に、学友会運営委員会と各文化団体の間に位置し、文化団体から提出される毎月の活動報告書を受け取り、それらをまとめて学友会に提出する事を通常業務としています。月に一回定例会議を行い、文化団体が活動しやすいようにサポートしています。

7月12日(月)昼休みを利用して、キャンパス内でそうめん流しを実施しました。何とか雨も降らず、終えることができました。竹を二つに割りゆがいたそうめんを2箇所から流しました。途中流れない事がありました。カルチャーセクション内外との交流も深まり一体感ができました。夏の大きいイベントが今まで無かったため、楽しんで頂けたと思ってます。



● 姫友戦を振り返って

スポーツセクションは、体育系の部・サークル・同好会の体育施設使用の管理や、毎年恒例の姫友戦、学内球技大会を企画しています。

6月26日(土)・27日(日)に行われた姫友戦では、4月から本学・兵庫県立大学・姫路獨協大学・関西福祉大学の学生役員が集まり、運営や企画などを約2ヵ月間話し合い、役員が一団となり頑張りました。初日は、雨天により屋外競技は中止になり残念でしたが、選手の方の汗を流しながら一生懸命試合を行う姿に感動し、今まで頑張ってきて良かったと思いました。総合順位は、1位・兵庫県立大学、2位・近畿医療福祉大学、3位・姫路獨協大学、4位・関西福祉大学でした。本学は1ポイント差で惜しくも兵庫県立大学に負けましたが、とても思い出に残る姫友戦になったと感じています。

後期に行う学内球技大会では、多くの学生に参加していただき、盛り上がるよう企画していきます。これからも、さまざまな人たちと交流を深め、より良い活動が行えるよう頑張っていきたいと思っています。



スポーツセクション代表
新田 恵梨
(臨床福祉心理学科3年)



● ボランティア活動支援センターについて

ボランティア活動支援センターでは、学外団体や福祉施設からボランティア依頼を受けその依頼に基づき、在学生のボランティア登録者へメール配信を行ったり学内のポスター掲示を通して情報提供を行う、いわば学外とボランティア登録学生のかけ橋をしています。

夏休みと春休みの年2回のペースで、日頃お世話になっている高齢者・児童・障害者施設等に伺わせていただき、ボランティア参加者に対するニーズ・学生に対する思い・参加する際の注意点等を伺ったり、実際にボランティアに参加させて頂き、今度のボランティア活動支援センターの活動に活かすと同時に他の学生が積極的にボランティアに参加できるように心掛けて活動しています。



ボランティア支援センター学生代表
國 弘 葵
(生活医療福祉学科3年)

平成22年度 前期クラブ活動概要報告

スポーツセクション	活動内容	結果	写真
硬式野球部	近畿学生野球連盟春季リーグ戦 3部	ベストナイン2名	
軟式野球部	近畿学生軟式野球連盟 春季リーグ戦 2部	優勝	
	近畿学生軟式野球連盟 春季リーグ順位決定戦 1部	昇格	
	姫友戦 優勝		
硬式テニス部	関西学生春季テニストーナメント		
ソフトテニス部	関西学生ソフトテニス連盟春季リーグ戦		
男子バレー部	関西大学バレー部連盟 春季リーグ戦 4部		
女子バレー部	関西大学バレー部連盟 春季リーグ戦 4部		
男子サッカー部	西日本バレー部学生選手権大会		
フットサル部	関西学生サッカー 前期リーグ戦 3部 A		
陸上部	兵庫県フットサルミドルリーグ		
	関西学生陸上競技対抗選手権大会		
	関西実業団陸上連盟記録会		
男子バスケットボール部	関西学生バスケットボール選手権大会		
	西日本学生バスケットボール選手権大会		
女子バレー部	姫友戦 優勝		
	関西女子学生バスケットボール選手権大会		
柔道部	西日本学生バスケットボール大会		
弓道部	山本杯争奪 兵庫県学生柔道優勝大会		
	関西学生弓道連盟選手権大会		
剣道部	姫友戦 優勝		
卓球部	兵庫県学生剣道大会		
車椅子バスケットボールサークル	姫友戦 2位		
	名神リーグ		
男子バドミントンサークル	第11回おりづる広島車椅子バスケットボール大会		
女子バドミントンサークル	姫友戦 優勝		
バレーボールサークル	姫友戦		
ボランティアわかば	障害者施設・老人福祉施設でのふれあいレクレーション・夏祭りの補助		
ハッピークローバー	地元幼稚園・幼児とのお誕生日会・ハイキング・キャンプ等の補助		
吹奏楽部	老人福祉施設・地元幼稚園・小学校・病院での訪問演奏・利用者との交流		
軽音楽部	学内外でのライブ開催・新入生歓迎ライブ・定期ライブ開催		
写真部	展示会の出展・行事の撮影		
茶道部	障害者施設でのお茶会		
演劇部	フレッシュマン交流会での演劇		
エコ同好会 ゼロ	ペットボトルキャップ回収によるワクチン購入費寄付		
文芸雑誌サークル	イラスト・漫画・小説の創作		





フィットネスセンター内プール開放を終えて

福祉健康スポーツ学科長・教授 岡本 孝信

平成22年8月10日(火)、11日(水)に、本学フィットネスセンター内のプールを地域の小学生を対象に開放しました。利用者が集まるか心配もありましたが、ここ最近の暑さも影響してたくさんのお子さんたちが集まってくれました。お子さんたちは口々に「楽しかった」、「来年もまた来たい」、「お兄さん、お姉さんたち(学生)がとても親切だった」などの感想を述べてくれました。今回のプール開放においては福祉健康スポーツ学科3年生(石飛、岡田、小林、竹内、中田、西谷、西村、前原、松浦、敬称略)が泳法指導やプールガードとして参加しました。学生たちは小学生と一緒に楽しいひとときを過ごすとともに、安全管理に全力を尽くしてくれました。今回のプール開放はこの学生たちの協力がなければ開催できませんでした。参加した学生たちはこの試みを通して、将来の運動指導者像を描いたに違いありません。また、プール開放後の時間をを利用してフレンドリーサークルの学生たちがイベントを開催してくれました。こういう学生たちは本学の財産となってこれからも本学を盛り立ててくれることでしょう。



献血功労者表彰



平成22年8月19日兵庫県公館にて献血功労者表彰「平成22年度兵庫県献血功労感謝のつどい」が行われました。このつどいでは本学の永年にわたる日本赤十字社・血液事業推進への協力、献血運動への功労に対して第46回献血運動推進全国大会での厚生労働大臣より感謝状、日本赤十字社より日本赤十字社金色有功章の伝達と贈呈を受けました。



福崎町あれこれ



三木家住宅

講師 黒木利作

本学のある福崎町には民俗学の創始者である柳田國男ゆかりの地が多くあり、三木家住宅(兵庫県指定重要有形文化財)もそのひとつです。文献によると柳田國男は、かつて大庄屋であったこの家に少年時代の一時期あずけられており、そこに大量にあった書物を読み耽った体験が後の偉業につながったことです。

その三木家住宅に6月26日(土)、福祉住環境について勉強している学生6名と一緒に見学に行ってきました。当日は土砂降りの雨でしたが、当地区区長の釜坂さん(写真右端)が丁寧に説明してくださいり、住まいと福祉について大いに学ぶことができました。中でも本物の「大黒柱」を見ることができたのはラッキーでした。なお、三木家住宅は平成22年度から保存修理工事を実施する予定です。

実習

社会福祉援助技術実習について

実習指導室長・教授 打田信彦

今年度の社会福祉援助技術実習は、8月から9月(原則)にかけて23日間で行います。これは社会福祉士国家試験受験資格取得のための実習です。実習生にはそれなりの力量が求められますが、一人ひとりに、多くの学びがあることを期待しているところです。

来年度から「相談援助」が加わりソーシャルワーカー実習という名称になります。社会福祉士に次のような新たな役割が求められます。

- ①福祉課題を抱えた者からの相談に応じその解決を自ら支援する役割
- ②自ら解決することのできない課題について当該、相談者への橋渡しを行い総合的かつ包括的に援助していく役割
- ③地域の福祉課題の把握や社会的資源の調整・開発ネットワークの形成を図るなど、

福祉課題の受け皿と解決の場となる地域社会の福祉増進に働きかける役割など

実習中、巡回指導・帰校して指導・実習先での総括などが組まれる予定です。実践能力を備えた人材養成が求められているのです。

精神保健福祉援助実習について

教授 山田州宏

精神保健福祉援助実習は、精神保健福祉士の国家試験受験資格を得る為に必要なものです。地域から排除され、隔離され続け、良くなつたにも拘らず一生、精神科病院で生活し続けなければならない人達が大勢います。その人達の社会復帰や地域生活の援助をするのが精神保健福祉士に課せられた第一の役目ですので、当大学では少しでも社会経験が多い4年生を対象に実習を行うことにしています。

精神科の医療機関、障害者自立支援関連事業所、保健所や精神保健福祉センター等で23日間行うわけですが、普段は入れそうにもない所で精神障害者を対象とした実習を行いますので、物凄い緊張が走ります。しかし「良かった」「もっと続けたかった」等の感想と共に戻って来ます。実習中は、守秘義務、体調管理、社会人としての常識的振る舞い、積極的でありながら手や口を出さない、自己覚知、明確な目標、毎日の記録や評価・総括等が求められ続けます。ですので、是非ご家族の応援よろしくお願い申し上げます。

9

専門性の高い介護福祉士の養成

准教授 泉妙子

平成21年4月より、介護福祉士養成課程における教育内容の見直しに伴い、介護実習においても新しいカリキュラムが示されました。近年、後期高齢者の急激な増加に伴って、認知症高齢者の介護や医療依存度の高い高齢者も増えており、これらの状況に対応できる介護福祉士の養成教育が求められている中で、介護実習に対する学びの位置づけは重要です。本学では、カリキュラムの改正に伴い「人間関係とコミュニケーション」「介護過程」「認知症の理解」等の教育内容をより強化し、根拠に基づく専門性の高い介護福祉士養成によって社会的ニーズに応える人材育成の実習プログラムを実践しています。本年度介護福祉学科3年生は、第2段階実習を6月に終え、これから訪問実習・11月には第3段階実習のケアプラン立案・実施・評価に至る難しい実習を予定しています。また、介護福祉コースの2年生は8月、1年生は来年2月に介護実習を予定し、学内学習と合わせて各段階の目標に従って、大きく成長する機会を得ています。

子どものスペシャリストを目指して

准教授 日坂歩都恵

近年、親子の生活習慣の乱れ、子どもの心身の発育・発達の歪み、児童虐待の深刻化、子育て不安や育児ストレスに悩む母親など、子どもを取り巻く社会状況が変化しています。

児童福祉コースは、教育と福祉のコラボレーションによって、保育の領域におけるスペシャリストであるとともに、子育て支援や次世代育成を目的とする児童福祉領域のソーシャルワーカーとしても貢献できる保育士の育成を目指しています。

保育士の国家資格を取得するのに欠かすことのできない教科目として保育実習があります。この実習は、児童福祉施設(保育所や児童養護施設等)の現場で子どもと保育者とじかにかかわりながら、様々な人間関係の大切さに気づき、自ら学びの方向性を見出します。その一助として教職員一同、学生が常に社会との接点を持ち、学べる環境づくりに取り組んでおります。後援会会員の皆様、今後ともご支援の程よろしくお願い致します。

就職内定者からの エール



就活はイメトレだ！

佐藤 菜美子

社会福祉学科（現 生活医療福祉学科）

私は4年生の5月、株式会社ハートウェルという企業から就職内定を頂きました。私が就職活動を始めたのは3年生の11月。まだ「福祉に携わる」ということしか念頭になく、企業か施設かも決められないまま就職活動をスタートさせましたが、視野を狭めないという点では良かったのではないかと思います。

初めは、面接を受けるたびに後悔し、落ちたのではないかということばかりが頭をよぎり不安でした。しかし、就職活動で出会うたくさんの人々に魅力を感じ、次第に就職活動が面白くなっていきました。

私が就職活動において一番心がけていたことは、フットワークを軽くするということです。様々な会社の説明会を聞き、常に動いているという状態にしていました。チャンスは自分から作りにいくものです。フットワークを軽くするための原動力はイメトレ（想像力）です。その会社で働いている自分を想像すると自然と就職活動にも力が入ります。

これは私の体験談ですが、自分にぴったりな会社と出会うとビビビッと何か感じるものがあってすぐに分かります。その会社へ自分の魅力を最大限伝えられるように、皆さん頑張ってください！



就職活動の心構え

中本 雅弘

介護福祉学科（現 生活医療福祉学科介護福祉コース）

私は、今回アリシェイトグループ専門職幹部候補として、就職が内定しました。

就職活動中、私が企業選びで一番重点においたのは、その企業の行っている事業ではなく、その企業の人や社風を見て、この会社の人たちと今後40年間一緒に働くことが出来るのかということです。

会社説明会だけでは、人柄や社風というものは感じ取れない…。そのため私が行ったことは、自分が選考を受けている企業の現場見学でした。実際に現場に行き、そこで働いている社員の方の姿を見ることで、その企業が行っている仕事をある程度理解でき、企業の社風を知ることが出来ました。この現場見学で一番私のイメージに合っていたのがアリシェイトグループです。

最後になりますが、これから就職活動をしていく方へのメッセージは、会社説明会や施設説明会で直感的に感じた「ここでなら…」という気持ちを大切に、そして、ぜひ自分自身で個別に現場見学に行って下さい。この就職活動で色々なことを学び、就職活動が有意義なものになるよう頑張って下さい。



出会いを大切に

徳野 純哉

福祉産業学科（現 経営福祉ビジネス学科）

私は就職活動を始めるにあたって、障害を持っている方の自立の支援や高齢者のサポートをしたいと思い、福祉用具を取り扱う企業に就職したいと考えていました。しかし、企業数は少なく面接を受けてもうまくいかず結果が出ませんでした。そんな時に大学内で福祉施設への就職を希望する学生を対象とした学内合同就職説明会があり、そこで障害者支援施設である二郎苑の担当職員の方に話を聞きました。話を聞いていると利用者の事をしっかり考えておられ、職員の方の仕事に対する熱意がすごく伝わり、こんな方たちと一緒に仕事がしたいと思い、第一志望先に決めました。後日、施設見学と面接を受け、内定をいただきました。これからは、先輩の職員の方々に一歩でも近づけるよう残りの大学生活を勉学に励み、頑張りたいと思います。



フィーリングが大事です

小林 佳恵

福祉心理学科（現 臨床福祉心理学科）

私の祖母は片麻痺で不自由な生活をしており、母や祖父が懸命に介護する様子や、また祖母も家でもリハビリを行ったり、出来ることは自分でしている様子を見て、私も力になりたいと思ったのが福祉の中でも老人福祉を目指したきっかけです。

就職先として特別養護老人ホーム、ロングステージを志望した理由は、見学説明会の際に職場の雰囲気が非常に明るく、利用者の方々も生き生きとされており、施設全体に笑顔が多いことが印象的であり、職員の方のお話をきいていると私が根ざしている福祉観と似ていたのでここで働き成長し続ける人材となりたいと思ったからです。

介護職で経験を積み、そして将来は柔軟な対応ができ、利用者やその家族に信頼されるケアマネージャーとして活躍したいです。

大阪天王寺キャンパス 留学生のメッセージ



李 晓琳
(経営福祉ビジネス学科1年)

私は、この大学に入る前は、全く分野の異なる専門学校にいました。しかし、もともと興味があった福祉関係の仕事に就きたいと思いました。そこで、日本の福祉が学べる大学に入り、将来は帰国して福祉に関する仕事に就こうと決め、この大学に入学しました。

入学当初は、自分に介護はできるのか、難しそうな授業にちゃんとついていけるのかなど、とても不安でした。でも、キャンパスの学生はみんな留学生なので、先生方がゆっくり、優しく授業を進めていただける為徐々に安心しました。

先生方と学生の仲は良く、いつでも相談にのってくださり、生活面でも私たちを支えてくださいます。今は、クラスの仲間や熱い先生方に出会えて毎日楽しく充実した生活を送りながら、自分の夢を実現できるように一生懸命頑張っています。



郭 向磊
(経営福祉ビジネス学科1年)

大阪天王寺キャンパスは7階建ての校舎だけで、グラウンドも体育館もありません。また、学生も一期生しかいませんが、学内は雰囲気がとても良いです。まず、このキャンパスにはやる気まんまんの先生方がおられます。どの先生も授業中は優しく、かつ真剣に勉強を教えてくださり、授業が終わっても学生の質問に答えてくださいます。こんな先生たちに刺激されて学生たちも一生懸命勉強し始めています。また、学生たちは学友会を作り、いろんなボランティア活動に参加したりしながら、自分たちの大学生活は自分たちの手で豊かにしようと頑張っています。だから、私はこのキャンパスが大好きです。

卒業生の紹介

11

本学卒業生がTV番組「ガイアの夜明け」に出演!!



「日経スペシャル ガイアの夜明け」HPより

今年3月に社会福祉学科を卒業した岡部沙季さん（写真右）がテレビ大阪7月13日放送の人気TV番組「ガイアの夜明け」に出演しました。岡部さんは番組の中で、高齢者の住まいとして近年注目されている高齢者専用賃貸住宅（高専賃）を運営する「社会福祉法人あかね」の活動を紹介する場面において、「介護のプロ」として名前入りで出演しています。

岡部さんのてきぱきとした動作や利用者様との自然で明るいコミュニケーションを通しての仕事ぶりは全国の視聴者に強い印象を残したものと思われます。社会福祉士国家試験も一発合格しており、また入職1年目にしてすでに当法人の「看板娘」となっていることは非常に喜ばしく、後に続く後輩たちのよきモデルとなるでしょう。

平成22年度 後援会役員

役職	保護者氏名	役職	保護者氏名	役職	保護者氏名
会長	橋本弘好	委員	芦内智美	委員	山下忠俊
副会長	竹内亨	〃	森岡玲子	〃	大野晃平
監査	松田文子	〃	山本嘉彦	〃	船倉光昭
〃	太田垣寿弘	〃	桑名幹夫	〃	嶋康人
委員	梶原生也	〃	長池かすみ	〃	安岡献眞
〃	村田祥	〃	堤好美	〃	井本亮
〃	木村誠司	〃	中澤保典	〃	西口耕造

学園祭のお知らせ



播彩祭実行委員会委員長
小林 由佳
(福祉健康スポーツ学科3年)

今年は10月23日(土)・10月24日(日)の2日間にわたり『第11回播彩祭～COLORFUL～』を開催致します。

さて、今回のサブタイトルは『～COLORFUL～』です。一人ひとりの個性を生かし色鮮やかな学園祭を！という意味が込められております。播彩祭ではご参加いただいた方、一人ひとりが主役になり皆様が笑顔で楽しんで頂けるよう、播彩祭を共に創り上げて頂ければと思います。そして第11回播彩祭が皆様にとって最高の2日間となるよう全力を尽くしたいと思っております。最後になりましたが、後援会の皆様には多大なるご支援・ご協力を頂き誠に感謝申し上げます。スタッフ一同、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。



平成22年度 学年暦

期	日	内 容
4月 5日(月)～	4月 10日(土)	オリエンテーション(健康診断含む)
4月 12日(月)		前期授業開始
4月 13日(火)		入学式
5月 15日(土)		実習前確認試験
5月 31日(月)～	6月 26日(土)	介護実習 第2段階
6月 5日(土)		実習前確認再試験
6月 14日(月)～	7月 14日(水)	精神保健福祉援助実習 1期
7月 23日(金)～	7月 28日(水)	補講・集中講義期間
7月 29日(木)～	8月 7日(土)	前期試験
8月 9日(月)～	9月 10日(金)	介護実習 第2段階(訪問介護含)
8月 18日(水)～	9月 17日(金)	社会福祉援助技術実習 1期
8月 18日(水)～	9月 17日(金)	精神保健福祉援助実習 2期
8月 23日(月)～	9月 24日(金)	介護実習 II
9月 10日(金)～	9月 16日(木)	補講・集中講義期間
9月 17日(金)～	9月 24日(金)	再試験期間
9月 27日(月)		後期授業開始
9月 27日(月)～	10月 29日(金)	社会福祉援助技術実習 2期
9月 27日(月)～	10月 29日(金)	精神保健福祉援助実習 3期
10月 9日(土)		社会福祉士国家試験模試 第1回目
10月 20日(水)		学園創立者記念日
10月 23日(土)～	10月 24日(日)	学園祭
10月 30日(土)		補講日(10月 20日)
10月 30日(土)		社会福祉士国家試験模試 第2回目
11月 4日(木)～	12月 8日(水)	社会福祉援助技術実習 3期
11月 8日(月)～	12月 14日(火)	介護実習 第3段階
12月 4日(土)		社会福祉士国家試験模試 第3回目
1月 6日(木)		社会福祉士国家試験模試 第4回目
1月 7日(金)		後期授業再開
1月 21日(金)～	1月 25日(火)	補講・集中講義期間
1月 26日(水)～	2月 3日(木)	後期試験
2月 16日(水)～	2月 21日(月)	再試験期間
2月 16日(水)		卒業時共通試験(介護福祉士)
2月 21日(月)～	3月 4日(金)	保育所実習
2月 21日(月)～	3月 8日(火)	介護実習 I
3月 14日(月)		学位記授与式(予定)

*日程は変更されることがありますので掲示に注意してください。

教育懇談会開催のお知らせ

後援会会員の皆様に大学の取り組み内容を理解していただくとともに、個別相談を通して学生生活全般に関する相談ができるよう毎年開催しています。奮ってご参加ください。

平成22年10月23日(土)

11:00～15:00

本学A棟 ※学園祭同時開催

同封のはがきにて9月30日(木)までにご連絡をお願いいたします。

お便りコーナー

4月より、前学生部長姫野修教授の後任として豊山恵子教授が事務局のメンバーに加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局では会員の皆さまからの「もっとこういうことが知りたい」などのご意見、お便りをお待ちしております。インターネットや携帯電話も下記E-mailアドレスにてご送信いただけます。どしどし会員の皆さまの声をお寄せください。

発行日：2010年8月30日

発 行：近畿医療福祉大学後援会

事務局 教学課

〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡 1966-5

TEL (0790) 22-5125

FAX (0790) 22-6941

E-mail:gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp